

生物文化まつふ



生き物文化マップ

千代田区周辺エリア編

神社・公園・動物カフェ・etc..

千代田区・台東区・文京区・中央区・新宿区

目次

- マップ一覧 P4
- スポット紹介 P6
- 神社・公園編 P6
- 動物カフェ編 P11
- その他編 P13
- おまけ編 P16
- あとがき P20

19
SPOT

生き物文化って何だろう？

そう思ったあなた

新しい発見、探しに行きましょう



はじめに

こんにちは！この度は「生き物文化マップ」をお手に取っていただき誠にありがとうございます。

私たちは普段、法政大学人間環境学部高田A3ゼミの生物文化班として、東京都内における生物に関するお店や神社などを調査し、文化として取りまとめるという活動を行っています。

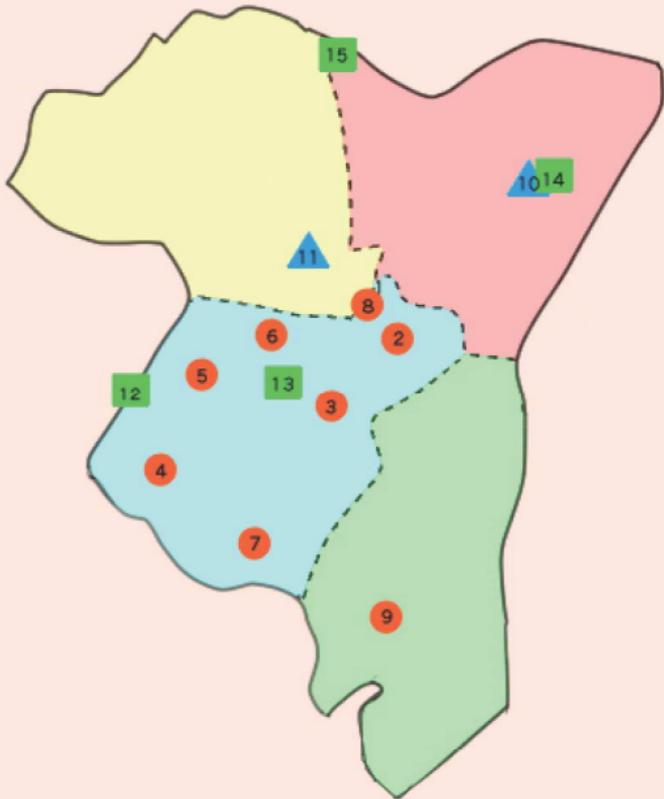
そこで、実際に足を運んで調査したことで発見した、東京の隠れた魅力を、もっと多くの方々に知ってもらいたいと思い、このマップを作製しました。

このマップを手にとっていただいた皆様に、こういった都内にも見られる生き物の文化を愛し、広めていただけたら幸いです。

生き物とは私たちの生活になくしてはならない存在です。その場所に根付く貴重な文化を、私たちと一緒に保全していきましょう！

2016年12月 文化班一同





生き物文化スポット一覧

【千代田区周辺】

- 1. 神田神社 東京都千代田区外神田2-16-2
- 2. 柳森神社 東京都千代田区神田須田町2-25-1
- 3. 平将門の首塚 東京都千代田区大手町1-2
- 4. 平河天満宮 東京都千代田区平河町1-7-5
- 5. 靖国神社 東京都千代田区九段北3-1-1
- 6. 神保町愛全公園 東京都千代田区神田神保町2-20-3
- 7. 日比谷公園 東京都千代田区日比谷公園1-6
- 8. 湯島聖堂 東京都文京区湯島1-4-25
- 9. 築地本願寺 東京都中央区築地3-15-1
- ▲ 10. 鳥のいるカフェ 浅草店 東京都台東区浅草1-12-8 大山ビル B1F
- ▲ 11. 金魚坂 東京都文京区本郷5-3-15
- 12. 市ヶ谷フィッシュセンター 東京都新宿区市谷田町1-1
- 13. 雉子橋 東京都千代田区一ツ橋一丁目～千代田区九段南一丁目
- 14. 浅草たぬき通り 商店街 東京都台東区浅草1-22-11
- 15. 谷中銀座商店街 東京都台東区谷中3-13-1

【それ以外の区】

- 16. 亀戸天神 東京都江東区亀戸3-6-1
- 17. 豪徳寺 世田谷区豪徳寺2-24-7
- ▲ 18. うさぎcafeおひさま 世田谷区北沢2-18-5 2F
- 19. ペッ甲インガイ 東京都江東区亀戸3-3-6

ジャンル紹介

神社・公園編

都内にはたくさんの神社等が存在しますが、実は狍犬やお狐様だけではない生き物との繋がりが数多くあります！実際に現地に行き調査を行うことで発見した、その様々な動物の事例をご紹介します。

動物カフェ編

近年人気急上昇中の「動物カフェ」。最近では都心部を中心に猫だけではなく様々な動物を扱うカフェが増えてきています！そこで今回は千代田区周辺のスポットをご紹介します！

その他編

神社やカフェとはまた違うユニークな生き物文化事例を集めました！その形態や動物の由来は様々であり、普段は意識しない、日常生活と生き物の繋がりを感じさせてくれます。

神社・公園編



たぬき様のおやしろ、ペリカン噴水
撫で牛、鬼狹頭(きぎんとう)etc...

① 神田神社



アクセス

中央線・総武線 御茶ノ水駅より徒歩 5 分
京浜東北線・山手線 秋葉原駅より徒歩 7 分
東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅より徒歩 5 分

概要

江戸東京に鎮座して 1300 年近くの歴史をもつ神田明神。御祭神として、一ノ宮に大己貴命（オオナムチノミコト、縁結びの神様とされる通称だいこく様）、二ノ宮に少彦名命（スクナヒコナノミコト、商売繁盛の神様とされる通称えびす様）、三ノ宮に平将門命（タイラノマサカドノミコト、除災厄除の神様とされる通称まさかど様）の 3 柱が祀られています。

長い明神石坂を登った先の境内には、大海原を渡るえびす様を守る海の仲間たち（イルカやタイヤトビウオ）や、獅子山に登る 3 つの獅子など、その神様たちにちなんだ実に多種多様な動物たちの彫刻が見られます。

② 柳森神社



アクセス

JR 山手線・京浜東北線・総武線・営団日比谷線
秋葉原 徒歩 5分
JR 有楽町 下車 歩 8分

概要

秋葉原から徒歩 10 分、賑やかな電気街を抜け少し歩いたところに、柳森神社はあります。柳森神社は、室町時代、太田道灌公が江戸城の鬼門除けとして多くの柳をこの地に植え、京都の伏見稻荷を勧請したことに由来する神社です。

たぬきの石像があることから、“たぬき様のおやしろ”とも呼ばれています。「たぬき=他に抜きんでる」ということから、立身出世や勝負事、金運向上に御利益があるとして信仰を集めています。その他にも柳森神社内で売っている“おたぬきさん”と呼ばれる土製の親子狸のお守りは素朴で大変愛されています。



③ 平将門の首塚



アクセス

JR 大手町駅 C5 出口すぐ

概要

平将門の首塚は、将門（しょうもん）塚とも呼ばれ平将門の首を祀っている塚です。また、東京都指定の旧跡であり、首塚の境内には多数の蛙の置物が奉納されわかりづらいますが、1つだけフクロウの置物があります。フクロウに関してはなぜ置かれているのか不明です。カエルの置物が置かれているのは、将門の首が京都から飛んで帰ってきたという言い伝えから必ず「帰る（カエル）」にひっかけ、置かれたようです。関東大震災後、この地に大蔵省仮庁舎を建てたところ大蔵省職員や工事関係者が謎の死を遂げたといったような祟りの話もいくつかあると言われています。



④ 平河天満宮



アクセス

半蔵門線 半蔵門駅下車 徒歩 1分

有楽町線 麴町駅下車 徒歩 3分

JR 中央総武線 四ツ谷駅下車 徒歩 10分

概要

菅原道真を主神に八幡宮と東照宮を相殿の神として祀っています。文明 10 年（1478）に大田道灌が江戸城本丸内の梅林坂上に勧請したのが始まりと言われ、徳川家康の入城後、本丸修築のために平川門外に移り、慶長 11 年（1606）現在の地に遷座しました。梅が天神様のシンボルであると同様に、牛（神牛）も天神様のトレードマークです。境内には他にも寺子屋の師匠を偲んだ筆塚や若者たちが力試しに用いた力石も存在します。生物文化としては、石牛を撫でると学芸が上達するという撫で牛や、狛犬神狐が観察できます。

石牛は 5 体存在しており、大きな存在感が感じられます。

⑤ 靖國神社



アクセス

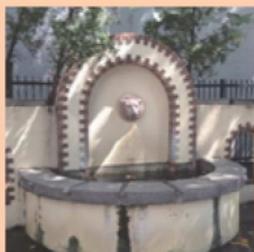
東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下徒歩 5分

JR 中央総武線・飯田橋・市ヶ谷 徒歩 10分

概要

靖國神社とは、戦争によって国家のために尊い命を捧げられた人々の御霊を慰め、その事績を後世に伝えることを目的に創建された神社です。馬、鳩、犬の銅像が並んでいます。正式名称は馬の像が「戦没馬慰霊像」、鳩の像が「鳩魂塔」、犬の像が「軍犬慰霊像」です。これらの像は、戦場で活躍した動物を慰霊するための像なのです。馬は、陸地の移動や運搬として、鳩は伝書鳩、そして、犬は搜索や伝令として活躍したそうです。これらは、人だけではなく、動物の命までも多くの犠牲を払った戦争だったことを物語っています。

6 神保町愛全公園



アクセス

都営地下鉄三田線新宿線

東京メトロ半蔵門線 神保町駅 徒歩約2分

概要

神保町愛全公園は古本屋街として有名な神保町の中にひっそりと存在する洋風式の公園です。サラリーマンや学生などが喫煙所として多く利用しています。この愛全公園は東亜高等予備校の跡地であり昭和時代に中国の首相であった周恩来が日本語を勉強し、大学進学の手助けを受けた場所でもあります。

その為、神保町界隈は大正時代に多くの中国人留学生が暮らしていたようです。石碑などが多く存在し、全体的にはヨーロッパの庭園をイメージしたライオンの噴水やテントウムシのオブジェなど生き物の置物を見ることが出来ます。



7 日比谷公園



アクセス

東京メトロ丸ノ内線・千代田線 霞ヶ関

東京メトロ日比谷線・千代田線 日比谷

都営地下鉄三田線 日比谷 出口すぐ



概要

日比谷公園は「都市の公園」として計画・設計され、日本初の「洋風近代式公園」として誕生、平成15年に開園100年となりました。花壇には一年中色鮮やかな四季の花が咲きビジネス街に勤める人達のいこいの場になっています。園内の雲形池には都市公園等の噴水としては日本で三番目に古いとされる鶴の噴水があります。また、明治36年開園当時のデザインの、幾何学文様の洋風花壇である第一花壇も日比谷公園のシンボルであり、ペリカン噴水からの景観もしばしばテレビドラマなどに背景として登場しています。そのほかにもこの日比谷公園には様々な動物装飾が見られます。

8

湯島聖堂



アクセス

JR 御茶ノ水駅 徒歩 2分

東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅 徒歩 1分

概要

徳川五代将軍綱吉は儒学の振興を図るため、元禄3年(1690)湯島の地に聖堂を創建しました。設計者の伊藤忠太は妖怪好きで設計した建築物の一部に不思議な生き物を登場させています。湯島聖堂の屋根の上には、鬼伏頭(きぎんとう)、鬼龍子(きりゅうし)と呼ばれる想像上の動物が飾られています。鬼伏頭は魚の体に竜の顔、二本の脚と角をもっているふしぎな生き物で、頭から勢いよく水を吹き出すことも出来るため、火災から建物を守るとされています。鬼龍子は姿が猫に似て孔子のような聖人の徳に感じて現れると言われていました。関東大震災による建物焼失以降、この霊獣たちが聖堂を守っているのです。



9

築地本願寺



アクセス

日比谷線 築地駅 徒歩約 1分

有楽町線 新富町駅 徒歩約 5分

浅草線 東銀座駅 徒歩約 5分

概要

築地本願寺は1617年に創建されたが、2度の災害によって2回建て直され、現在の本堂は1934年に建てられたものです。地震や火災に強く、なおかつ新しい仏教建築にするため、鉄筋コンクリートや花崗岩を用いた建築、古代インド様式のデザインなど伊東忠太氏の個性あるさまざまな意匠が取り入れられました。震災復興期の貴重な建造物として外周の石堀三門(正門・北門・南門)の門柱とともに2014(平成26)年国の重要文化財に指定されており、本堂は「インド様式」が組み込まれているためか、本堂内に入る前に、牛や鶏など様々な動物の像を見ることができます。



動物カフェ編

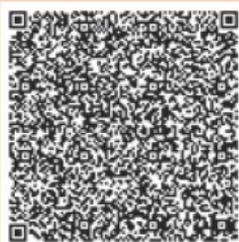


身近に金魚を見て
くつろげるカフェ!

可愛いインコやフク
ロウ達がお出迎え♪



10 鳥のいるカフェ



アクセス

東京メトロ銀座線 田原町 徒歩約3分、
都営浅草線 浅草 徒歩約5分



概要

最近、話題になっている動物カフェ。その中でも、じわじわと人気が出てきているのが、この鳥のいるカフェです。店内には様々な種類のインコが60羽以上飛び交っており、フクロウやタカなどの猛禽類とも触れ合うことができます。また、手や肩、頭などにインコ達が飛んできてくれるので、思う存分触れ合ったり餌をあげたりすることもできます。ショップとカフェという新感覚のお店で、気に入った子がいれば購入することもできます。運が良ければふわふわのひなにも会えるかもしれません。鳥をイメージしたスイーツやグッズも販売しています。

11 金魚坂



アクセス

地下鉄本郷三丁目駅から徒歩 5 分



概要

創業 350 年の金魚屋。様々な種類の金魚が売られているだけではなく、金魚釣りや食事、喫茶も提供しています。

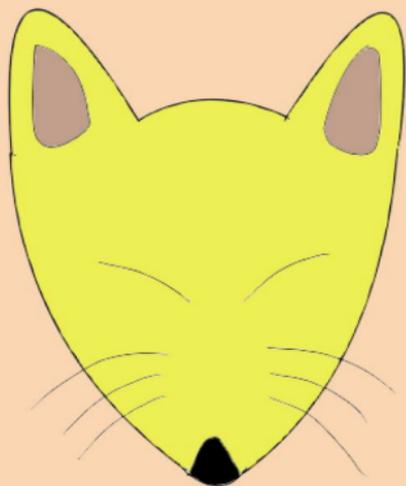
店内においても、金魚鉢や水槽の組み込まれたテーブルなどがあり、食事をしながら金魚を楽しむことができます。

コーヒー 700 円～、中国茶 800 円、デザート 500 円～といった喫茶メニューのほか、金魚坂御膳 1700 円、親子丼 1700 円といった食事メニューやコース料理があります。

営業時間 平日 ランチ 11:30-14:30

喫茶 11:30-21:00 ディナー 17:00-21:00

土日祝 食事 / 喫茶 11:30-19:30



その他編



猫のまち、12匹の
願掛けたぬき、都会
の釣堀 etc…

12 市ヶ谷フィッシュセンター



アクセス

JR 総武線・東京メトロ南北線

東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅徒歩1分



概要

市ヶ谷フィッシュセンターは、創業50年以上の実績と信頼を誇る総合観賞魚センターであり、世界中から厳選した熱帯魚・水草・飼育用品を取り揃えています。そしてそこには釣堀も併設されていて、都会のど真ん中で大きな鯉を釣ることができ、その迫力の手応えには日頃のストレスも忘れてしまうほどです。女性や子供でも楽しめるミニ・フィッシング（金魚や小さな鯉）も用意されており、客層は学生、サラリーマンなど、土日祝日は家族連れで賑わいます。釣堀ではカワウが鯉を食べに来ることがあり、また土手がスッポンの産卵場所となっていて、生まれたばかりの子供が釣堀で泳ぐ姿も見られるそうです。



13

雉子橋



アクセス

東西線 竹橋徒歩 1分

都営三田線・新宿線・半蔵門線 神保町徒歩 3分

概要

千代田区にある雉子橋は、大正 14 年 (1925) 10 月 25 日に建設された長さ 32.89m、幅 27.6m の鋼橋です。雉子橋に掲げられている千代田区教育委員会の説明文によると「昔、数万人の唐人が江戸へ来る際、おもてなしの料理に雉を使うとのことで、雉を諸国から集めました。この川の上流のほうに鳥屋を作り、そこに雉をたくさん入れていました。その雉小屋のほとりに橋が一つあり、雉子橋と名付けた」そうです。これは初め、俗称であったのが橋名となってしまったようです。昔、外濠から平河濠につづいていて、江戸城本丸にも近い為警備も厳しかったと言われています。

14

たぬき通り



アクセス

銀座線 都営浅草線 浅草駅 徒歩 5分程度

概要

たぬき通りは、商店街の名の由来にもなった「願掛けたぬき」12匹がいるパワースポットであり、浅草の観光スポットでもあります。12匹のたぬきはそれぞれ持っているパワーが異なり、愛情、開運、人情、夫婦、祝福、不動、大黒、小町、大師、地藏、天神のたぬきが通りの脇にたたずんでいます。また、この近くには、かなや刷子という動物をモチーフにしたたわし商品や馬、豚、りす、山羊の毛を素材としたブラシ商品を卸販売しているお店がありとてもおすすめです。

15 谷中銀座商店街

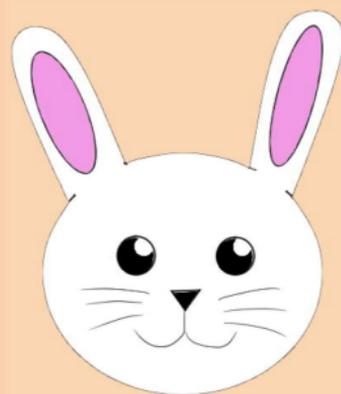
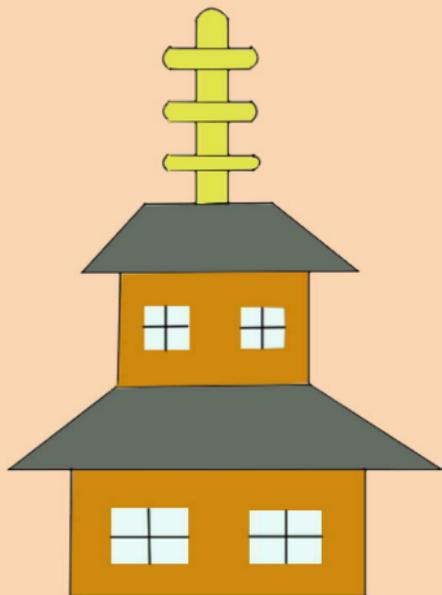
アクセス

JR 山手線 日暮里駅 徒歩 5 分



概要

谷中銀座商店街とは日暮里駅から少し歩いたところにあるこれぞ江戸時代の下町というような昔ながらの個人商店が立ち並ぶ商店街です。猫をモチーフにした雑貨屋や、猫のしっぽに見立てたスイーツがあったりするなど猫関連の商品が多くあり、猫の聖地といわれています。もちろん生きている猫も沢山見かけることができます。商店街の中には商売繁盛の招き猫として七福猫という木彫りの置物が置いてあり、それら七福猫すべて探すのもこの商店街の魅力であり老若男女問わず楽しむことができます。



番外編



16 亀戸天神



アクセス

総武線亀戸駅下車 徒歩 15 分

概要

亀戸天神は江戸時代に建立された天満宮であり、学問の神である菅原道真を祀っています。その為受験期には沢山の受験生が訪れます。また、道真が京都から大宰府へ下向中白牛によって難から逃れることができたという故事が存在するなど菅原道真と牛の縁が強く、神牛座像を祀っています。また、亀の造り物や、石造に彫られたウサギなどを観察することが出来ます。敷地内には他にも様々な場所に動物が隠れているので、探してみたいかがでしょうか？

17 豪徳寺



アクセス

東急宮の坂駅 徒歩 5分

小田原線豪徳寺駅 徒歩 15分

概要

文明 12 年 (1480)、建立したと伝わる曹洞宗の寺。彦根藩主の井伊直孝が、豪徳寺の猫の手招きにより門内に招き入れられ、雷雨の難を免れたことを大いに喜んだという言い伝えから、「招猫観音」を祀り、招き猫 (豪徳寺では「まねぎねこ」とよぶ) を縁起物として授与されています。そのため幸運を呼ぶスポットとしても、招き猫発祥の地とも知られています。ひこにゃんのモデルになった猫「たま」も飼われています。



18 ウサギ cafe おひさま



アクセス

小田急線・京王井の頭線下北沢駅 徒歩 3分

概要

うさぎのお部屋でまったり遊んだり、飲食のできるカフェスペースでお茶や美味しい料理などが楽しめる癒しのお店です。ネザーランドドワーフ・ライオンドワーフ・ポーランドロップイヤーなど約 20 匹のうさぎが日替わりで接客しています。うさぎと触れ合うだけでなく、気に入った子うさぎを購入することも可能です。



19 ペッ甲イソガイ亀戸天神前店



アクセス

総武線亀戸駅下車 徒歩 12 分

概要

亀戸駅から亀戸天神に向かって歩いていくとペッ甲イソガイというお洒落なアクセサリーショップがあります。店内には犬や猫などをモチーフにしたネックレスや小物などの装飾品が多数展示販売されています。これらのアクセサリーは全てペッ甲から作られています。ペッ甲とは“タイマイ”という赤道付近に生息する海亀の甲羅を装飾品へと加工する日本の伝統芸能でありペッ甲職人は1300年前から長年伝統技術を継承してきたそうです。店員さんがとても気さくで素敵な雰囲気のお店です。

参考 URL

1. 神田神社
【神田明神 HP】 <http://www.kandamyoujin.or.jp/sp/>
2. 柳森神社
【柳森神社 - 宗教法人 東京都神社庁】
http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/syoukai/01_chiyoda/1010.html
3. 平将門の首塚
【地域情報 TOKYO さんぽ】
<http://www.jk-tokyo.tv/zatsugaku/116/>
【skyticket 観光ガイド】 <https://skyticket.jp/guide/33203>
4. 平河天満宮
【平河天満宮 - 千代田区観光協会】
<http://www.kanko-chiyoda.jp/tabid/376/Default.aspx>
5. 靖園神社
【靖園神社 HP】
<http://www.yasukuni.or.jp/precincts/statue2.html>
6. 神保町愛全公園
※引用なし (現地の石碑に書かれている内容のため)
7. 日比谷公園
【公園に行きたくなるサイト・公園へ行こう！】
<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/about037.html>
【東京おでかけガイド】
http://park.tachikawaonline.jp/park/17_hibiya.htm
8. 湯島聖堂
【史跡湯島聖堂公式 HP】
<http://www.seido.or.jp/yushima.html>
9. 築地本願寺
【浄土真宗本願寺派・築地本願寺公式 HP】
<http://tsukijihongwanjiji.jp/gokan/build/art>
10. 鳥のいるカフェ
【鳥のいるカフェ公式 HP】
<http://toricafe.co.jp>
11. 金魚坂
【金魚坂公式 HP】
<http://www.kingyoazaka.com>
12. 市ヶ谷フィッシュセンター
【市ヶ谷フィッシュセンター公式 HP】
<http://www.ichigaya-fc.com/ifc/>
13. 雉子橋
【雉子橋 - 千代田区観光協会 HP】
<http://www.kanko-chiyoda.jp/tabid/664/Default.aspx>
14. 浅草たぬき通り
【浅草観光のオトモ HP】
<https://asakusakanko.com/gankaketanuki/>
15. 谷中銀座商店街
【谷中銀座商店街振興組合 HP】
<http://www.yanakaginza.com/>
【てくてくカメラ - 福猫にみちびかれ “猫のまち” 谷中へ | Enjoy ニコン】
<http://www.nikon-image.com/enjoy/life/tekuteku/technique01.html>
16. 亀戸天神
【亀戸天神社 (東京都江東区) | TOKYO おでかけガイド】
http://park.tachikawaonline.jp/shrines_temples/8_kameido.htm
17. 豪徳寺
【大人の遠足 招き猫が人と人つなぐ豪徳寺 産経ニュース】
<http://www.sankei.com/premium/news/141116/prm1411160013-n2.html>
18. ウサギカフェおひさま
【ウサギカフェ おひさま HP】
<http://www.rabicafe.com/>
19. ペッ甲インソガイ
【ペッ甲インソガイ 亀戸店 HP】
<http://www.bekko-isogai.jp/>

あとがき

生物文化と聞くと皆様は何を想像するでしょうか。

すぐにこれだ！と思いつく人はあまりいないのではないかと思います。私たち文化班も発足してわずか2年、更には初年度と今年では大きくメンバーが異なり、正直、「生物文化に関することを行う」という以外は何もわからないような状態でした。そのような中、前年の調査を活かしつつ何かできないかと私たちが話し合い、追加調査を行い、1年かけて作り上げたのがこの冊子です。

調査では、様々なところに訪れました。この調査がなければ行くことはなかった場所、気づかなかったことも多々あります。そして、調査を通じて、私たち自身が生物文化の魅力、ひいては東京という場所の気づかなかった魅力というものを感じ取ることができました。

皆様にも、この冊子を通して生物文化の魅力、東京の隠れた魅力を実感していただければ幸いです。

最後に、この冊子作りにご協力くださった高田先生にこの場を借りて感謝申し上げます。

2016年12月 文化班一同

